

科目番号	51013	分類	履修者	高度実践看護コース	学年			
科目名	コンサルテーション・インフォームドコンセント特論 (Advanced consultation/Informed Consent)				1			
					配当セメスター			
					後期			
担当者	草間朋子 他6名	区分	必修	単位	1	時間数	15	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
<b>【概要】</b> 医療におけるインフォームドコンセントのもつ意味を理解し、診察で得られた所見、画像診断やデータ分析に基づく診断内容について、患者の状況に対応して説明できるようにする。また看護におけるコンサルテーションは、インフォームドコンセントの技術を用いた包括的な援助であることを理解し、患者が納得するプロセスをたどれるよう具体的な実践方法を学ぶ。						○	1. 患者・患者家族のニーズに自律的に対応できる実践能力	
<b>【目標】</b> 1. 医療におけるインフォームドコンセントの意義を理解する。 2. クリティカル領域における患者の状況に対応したインフォームドコンセントの技術を理解する。 3. インフォームドコンセントにおける高度実践看護師の役割を明確にする。 4. コンサルテーションの基本理論とインフォームドコンセントとの関連を理解する。							○	2. 患者の擁護者として活動できる倫理的意決定能力
								3. 看護・看護学の発展・進化に寄与し社会・時代のニーズに対応した創造的な研究・開発能力
							○	4. 多職種と連携・協働して行われるチーム医療の中で看護職としてのリーダーシップを発揮できる能力
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第1回	<インフォームドコンセントの理論> ガイダンス 1. コンサルテーション、インフォームドコンセントの概念						草間 他6名	
第2回	2. インフォームドコンセントの現状と課題							
第3回	1) インフォームドコンセントの理論とクリティカル領域における							
第4回	インフォームドコンセントの現状と課題							
第5回	2) 外来におけるインフォームドコンセントの現状と課題							
第6回	3) 小児臨床におけるインフォームドコンセントの現状と課題							
第7回	4) 終末期医療におけるインフォームドコンセントの現状と課題							
第8回	<インフォームドコンセントの演習> 3. クリティカル領域における、患者の状況に応じたインフォームドコンセントの 実際診療場面の説明方法と説明内容							
事前・事後学習	事前学習：学習内容に関係する時事問題について、新聞やインターネットで調べておく 事後学習：配布資料や学習内容を振り返り、仕事への活用について検討する 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み込むこと。							
評価の方法	参加度(10%)、資料およびプレゼンテーション(40%)、筆記試験、課題レポート及び観察評価(50%) から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	適宜紹介する。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							